

こらぼ大森イベント掲示板

第13回こらぼ大森夏まつり

てをつなごう、みんなのちから -大田区制70周年記念-

日時：8/21（日）（11時開会、15時閉会）

会場：こらぼ大森 グラウンド、体育館、校舎棟

内容：模擬店（焼き鳥/焼きそば/卵プリン/シューアイス/焼きたてパン/酒類/and more!）
スポーツ大会（三角ベース/バスケットボール/龍心流拳法/スポーツ吹き矢/and more!）
親子で楽しめる催しもの・企画（よさこいソーラン/人形劇/昔あそび体験/and more!）
展示・ものづくり体験（NPO パネル展示/平和のミニ版画、押し花しおり、ミニ凧/and more!）

こらぼ大森の夏まつりは、町会をはじめ地域の団体や NPO 等の区民活動団体が協力して開催する、地域と区民のお祭りです。東北・熊本の被災地への応援・支援・理解を深めるための活動も行っております。

主催：NPO 法人大森コラボレーション、第13回こらぼ大森夏まつり実行委員会

共催：大田区、大森西地区自治会連合会

※お車でのご来場はご遠慮ください。また自転車の駐輪場には限りがあります。できるだけ徒歩でご来場ください。

こらぼの森づくり-樹名板を作ろう2016

こらぼにはどんな樹があるか、ご存知ですか？

みんなで樹の名札を作ってみましょう！

日時：8/27（土） 13:00~15:30

会場：こらぼ大森 多目的室

内容：樹名板（木の名前やイラストを付したものを）を製作し、木にかける

対象：小学生（1・2年生は保護者同伴）

定員：15人

参加費：無料

主催：こらぼ大森 情報交流室 I

協力：NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり、
おおもり子どもセンター、NPO 法人ゆうえふ、おおた社会福祉士会

こらぼ大森ボランティア募集！

ボランティアの「はじめの歩」-出来ることから-

内容：お花の水やり、イベントの準備
本ニュースや冊子の袋詰め など
活動日：毎週木曜日

ご都合に合わせての調整も可能です。

申込み：右記連絡先までご連絡ください。

※事前に登録手続きがあります。

グラウンドゴルフ

こらぼの芝で

元気にグラウンドゴルフをしよう！

日時：8/8（月）・8/19（金）10:00~11:30

会場：こらぼ大森 グラウンド

参加費：200円

対象：どなたでも参加可能

持ち物：タオル・飲み物（天候によっては帽子）

道具はレンタル可能です。

技術は大田区グラウンドゴルフ協会の方々が丁寧に教えてくれます。（初心者歓迎！）

主催：NPO 法人大森コラボレーション

協力：大田区グラウンドゴルフ協会



発行：こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX：03-5753-6560

E-mail：c b c 10286@nifty.com

URL：http://collabo-ohmori.com/

住所：大田区大森西 2-16-2

大田区区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ 大森 第16号 ニュース

2016年8月1日 発行

- 第13回こらぼ大森夏まつり
- LET'Sこらぼ 地域集会室「さわだ」
- こらぼと私～ものづくりのアドバイザー
- 本：減災の処方箋
- 掲示板「こらぼ大森夏まつり」「樹名板を作ろう」など

第13回こらぼ大森夏まつり 開催！ てをつなごう みんなのちから



こらぼ大森が開設された当初から始まった夏まつりも、今年で13回目を迎えます。

昨年に引き続き行う被災地の復興を応援する企画には、4月に地震で大きな被害を受けた熊本の被災地支援も準備しています。町会をはじめ地域の皆様と実行委員会の皆様のそうした気持ちは今年のテーマにも込められています。

イラストは、毎年この夏まつりで元気に「よさこいソーラン」を踊ってくれる子ども交流センターの子どもたちです。最近では、地域のお祭りなどでも皆様にご覧いただき喜んでいただいているそうです。

Let's こらぼ



こらぼ大森周辺にも魅力ある地域活動がたくさんあります。そのひとつに「集会室さわだ」の取り組みがあります。大森沢田西町会の渚会長より、設立への想いや活動内容についてお話をいただきました。地域のコミュニティーのあり方が大きく変わる時代に合わせた、地域活動が求められているのでしょうか。

地域集会室「さわだ」の活動に寄せて

大森沢田西町会
会長 渚 真臣さん

戦いの歴史が終わって70年、着実に豊かさ
と自由を手に入れました。しかし個人優先感や
高欲求による不満足感が具体化するにつれ感
謝の思いは薄くなり、思いやりや謙虚さの欠け
る歪みが広がりつつある様に思います。町会活
動が必然で嫌が応にも交流があった時代に比
べ形だけの興味の薄いものになってはいない
でしょうか。

人は20の果実があれば果実嫌いでもいくつ
かには興味があるはず。日長一日テレビを見て
いる人も時には食事会に行きたいはず。そこで
町会に集会室を作り、30のイベントと30回の
食事会を目指しました。もちろん一遍には出来
ませんが、健康体操やマッサージ、食事会、麻
雀教室、これは高齢者向け。

学習支援や中高生の居場所作りは子供達よ
りも、親の意識を変えて欲しいため。

これからの課題は若、中年の参加策です。そ
こが真に着地点です。旧町工場の空室を安い家
賃で借りました。想いだけの空回りで終わる確
率の方が高いのです。しかし、いずれ作られる
新しい時代の在り方の為に私達の模索と失敗
が少しの要因や参考になればと思っております。

いつか災害が起こった時に、避難所に集まっ
た全ての人全員顔見知りだったとしたらす
ごいですよね。そんな町会に思いを馳せなが
ら。豊かで自己中心で居られる時代だからこ
そ、人が集う事を町会の活動の軸にしました。
先日は蒲田の黒湯の足湯を町会の集会室に用
意しました。真に全員ホットでした。次は何を
するのかな、暇だから行ってみるか、そんな思
いの中で人と人が結び合う町会コミュニティー
を少しでも希望を持って目指してみようと思
っています。



足湯で、
パシャリ！



こらぼと私

ー簡単な修理・修繕を自分でやってみましょうー

5月21日、「家具の転倒防止の工夫」につい
ての講座がこらぼ大森の2階会議室で開かれ
ました。主催はものづくりのアドバイスに取り
組む「達磨の会」、講師は家具の転倒防止の様々
なアイデアを考案してこられた篠原進さんで
す。

ご自身が制作された模型を使って、タンスや
冷蔵庫などが地震の時にどう動くか、ちょっと
した工夫で転倒防止ができることを篠原さん
が具体的にお話しして下さいました。突っ張り
棒や「くさび」の効果的使い方等、実演を交え
ての講話に聞いている人たちも納得の表情で
した。

「達磨の会」は、日常生活で必要になる簡単
な修理・修繕を、高齢者や女性の方でも自分自
身でやれるようにすることを目的として、一般
の方向けに実践的な講座を行っています。

会の代表の周防幸男さんは、都立城南職業能
力開発センターの元講師です。3月に卒業生の
皆さんと相談して「達磨の会」を作りました。

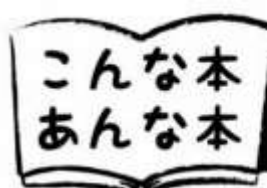
「昔は、障子紙の張替えとか戸の立て付けが悪
くなったら各家で直していたけれど、最近は何
でもほとんど買えば手に入るから、生活に身近
な『ものづくり』の知恵や技術が消えかかって
きているんです。これからの時代は、暮らしの
中のちょっとした大工仕事なんかは女性でも
高齢者でも知っておいたほうがいいと思うん
です」と話す周防さんから、ものづくりを通じ
て社会に役立ちたいという気持ちが伝わって
きます。

7月の暑い昼下がり、周防さんのご協力でこ
らぼ大森のふれあいコーナーに新しい掲示板
が設置できました。

周防さんと達磨の会は、これから毎月こらぼ
大森で簡単ものづくりをテーマに「暮らしの井
戸端塾」を行う予定です。



「講座」で説明をする周防さん



仙台・福住町方式 減災の処方箋

こらぼ大森2F情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します

水害にはたびたび見舞われてきたものの、それ以外のごく普通の住宅街で
ある仙台市福住町。その福住町内会は「一人の犠牲者も出さない」を合言葉
に「福住町方式」という減災システムを生み出した。

本書では、福住町方式の様々な内容が紹介されている。その中から自分の
町会・自治会に必要なことや自分自身で出来ることを考えるきっかけにでき
る1冊。防災のシステムを成立させるのに重要なことは、日々の近所付き合
いであると痛感する。



著 者：菅原 康雄
三好 亜矢子
出版社：新評論